

## 過去の採択事業に関するアンケート まとめ

### 1 調査の内容

#### (1)目的

さらなる制度の充実等に向け、過去の採択事業の成果・課題等を把握するため

#### (2)調査対象

調査時点で採択終了している提案事業 33件(30団体)

No.	提案事業名	提案団体名
1	冬の生活道路を守る協働意識の向上	永山第3地区市民委員会
2	あったかいねあさひかわ～つなげよう灯のわ～	旭川ワイルド・インク・コンソーシアム 学生自主組織 (はしっこす)
3	旭川市開村120周年記念「誰にもやさしい緑の森づくり」	「誰にもやさしい緑の森づくり」実行委員会
4	旭川市富沢地域の自然環境保全のための、国内外来種77* 植物11種及び動物7種の駆除活動	ざりがに探偵団
5	外来種セイヨウオオマルハナバチモニタリング及び防除事業	大雪と石狩の自然を守る会
6	神居東・雨紛地区「子どもの安全・安心を地域ぐるみで守る」事業	神居東・雨紛地区ふれあい区民推進協議会
7	介護予防「ふまねっと運動」サポーター養成	NPO法人通院・外出支援センターたいせつ
8	親子でつくる森のたまてばこ	特定非営利活動法人森林再生ネットワーク北海道 (現：特定非営利活動法人もりねっと北海道)
9	旭川おひ！ピンチョスプロジェクト	たいせつ食の元気隊
10	人と野生生物がともに健康にくらせる街づくり	人と野生生物の関わりを考える会
11	手話の世界へようこそ～手話のあれこれを楽しもう！～	社団法人旭川ろうあ協会
12	旭川子ども観光通信員2012	TOS S上川
13	「身近な森のバイオマス」体感普及事業	特定非営利活動法人もりねっと北海道
14	特定外来生物ウチダザリガニの被害調査及び防除活動事業	旭川ウチダザリガニ防除隊
15	新しい読書の楽しみかたへ伝える・つながる読書術	旭川読書コミュニティ うろこ会
16	旭川の宝物・再発見 地域一体型「遊・食・コン」共有体験イベント 旭川市地域活性化事業 『街かつ！』フリースタートレハンウォーク	『街かつ！』実行委員会
17	“雪の降る街を”旭川冬の写真コンクール	まちづくり市民の会
18	旭川市におけるプレーパークを通じた市民と行政の協働による子ども子育て支援の実践	あさひかわ こどもあそびねっと
19	生ごみ・落葉の堆肥化及び遊休耕作地活用事業	神楽岡エコクラブ
20	大人女子学園祭	GC旭川
21	子どもの生きる力を育む子どもカレッジ手帳	旭川地域生涯学習インストラクターの会
22	身近の自然から森を知る	癒しの森づくり
23	地域を育む森林環境教育「森育プロジェクト」	特定非営利活動法人もりねっと北海道
24	学生合同 Summer Camp	旭川ワイルド・インク・コンソーシアム 学生自主組織 (はしっこす)
25	銀座まちなかにつながる障がいのある人となない人とのレク事業	レクスボあさひかわ
26	第1～3回北海道ヒーローサミット	北海道ヒーローサミット実行委員会 (旧：ゼロダクティブ)
27	まちづくり 人づくり 食べ物づくり	どろんこ楽農学校
28	中途難聴者向け中級手話講座	旭川中途難聴者協会
29	世代間交流推進事業	永山第二地区社会福祉協議会
30	ごみ減量化工コMAP事業	ぴったんこあさひかわ
31	培う未来のコア・コンピテンス	常磐サロン実行委員会
32	旭川市・道北地域における子どもの居場所づくりの啓発事業 - 「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアーin旭川・道北」の実施 -	旭川おとな食堂
33	地域とつくる放課後の児童の居場所事業	一般社団法人旭川東豊スポーツクラブ

#### (3)調査期間

令和2年2月3日(月)～3月9日(月)

### 2 調査結果

回答数 33件中18件(回収率 54.5%)

### 3 集計結果の詳細

#### Q1. この制度を活用して良かった点はどのような点ですか。(複数回答可)

選択項目	件数(件)
行政課題や市民ニーズに効果的に貢献できた	12
行政との協働で信頼感が得られた	11
担当部署からアドバイスが得られた	10
<b>事業運営の知識・経験が得られた</b>	<b>14</b>
地元関連団体とのネットワークができた	12
<b>協働のまちづくりの実現への関心が高まった</b>	<b>16</b>
その他	3

#### 具体的な内容

地域の市民活動団体／市民委員会・社会福祉協議会・まちづくり推進協議会等と連携して、エコな地域づくり実行委員会を発足することができた。

①～⑥の全てが良かったが、いくつかを補足しますと、私達の会は、元教員で苦勞し教育の様々を総合的に協働と融合(統合性教育)による成果をあげる事に成功もして来たベテラン教員の研究者達です。平成25年から7回の公募をして来ましたが、審査員からの解り易く絞ってと言われ、私達の会の教育実践の企画内容に逆行しますが公募評価の傾向を知るための試みとして1回だけ「道民カレッジ事務局も子供手帳を実施。」この26年度の応募で「初めての採択」となる。同年、道民カレッジ子供手帳の活動(「私達の会」のアドバイスと支援を基に旭川市科学館でも進める。)も進められる。Q7で、この手帳の活かし方の詳しい意見等を追加記載します。

今後も継続して実施するための小道具が確保できた

#### Q2. 負担金(市が負担した事業経費の金額)についてはどうでしたか。(択一)

選択項目	件数(件)	割合(%)
多かった	0	0%
<b>ちょうど良かった</b>	<b>14</b>	<b>78%</b>
少なかった	2	11%
その他	2	11%

#### 「少なかった」と回答した場合の希望金額

100万上限というか、GISソフトが高額なので購入できない。

約600万円(市内小中学校1年生3,000人×200円/冊)

#### 具体的な内容

予算規模が大きめの事業だったので大目に見てほしいというのが本音ではあるが、市の財政規模や他団体の事業を鑑みると妥当な金額だと思います。

ちょうど良かったが、自助努力ということとその後のためにも、30万円位で、多くの団体が関わるのが良いかと思う。

**Q3. 採択された事業はその後も継続して実施していますか。(択一)**

選択項目	件数(件)	割合(%)
同じ事業を継続して実施している	5	28%
事業内容を一部変更して継続実施している	7	39%
現在は実施していない	6	33%

**「同じ事業を継続して実施している」と回答した場合**

**(1)事業の運営体制について(択一)**

選択項目	件数(件)	割合(%)
<b>同じ担当部署と協働(もしくは協力)して実施している</b>	<b>2</b>	<b>40%</b>
同じ担当部署と、その他団体とで協働(もしくは協力)している	0	0%
担当部署ではない他団体と協働(もしくは協力)して実施している	1	20%
<b>提案団体単独の事業として実施している</b>	<b>2</b>	<b>40%</b>
その他	0	0%

**(2)事業の運営資金について(複数回答可)**

選択項目	件数(件)
市の事業の一環として、市から補助金等の財源を得て実施している	1
市以外の団体から補助・助成等を得て実施している	1
<b>団体の自己財源(会費・参加費・寄付金等)で実施している</b>	<b>4</b>
その他	0

具体的な助成元	
選択項目	件数(件)
国	0
北海道	0
他の市町村	0
<b>民間企業</b>	<b>1</b>
その他	0

「事業内容を一部変更して継続実施している」と回答した場合

(1)具体的な内容

薪棚を共同利用する薪クラブ、森林を手入れしてバイオマスを作る研修の森薪塾、薪ストーブの講習会などを開いています。
2015年国連サミットで採択された「SDGs／持続可能な開発目標」の「12.つくる責任・つかう責任」に共鳴して、「まだまだ使える物の譲り品の受渡し会」「学生服の譲渡会」「自転車の譲渡会」「食品ロス研修会」「2R勉強会」等を開催している。
(要約) 統合制教育の活用やいじめ・暴力・虐待・不登校の防止を目指し、教育講座の主催、フィンランド教育の視察など、子ども手帳の他にも様々な教育実践活動を交えながら、取組を充実させています。
対象を幼稚園から一般の親子・小学校に変えて体験型のプログラムを実施しています。
団体は解散したがアトリエharemiとして事業を引き継いでいる
・マンパワーの関係 ・具体的には、事業の中核的役割を担っていた団体が諸事情で協力不可となったことにより、縮小せざるを得なくなった。
銀座商店街での活動は、現在ACT(中心市街地活性化協議会・企画推進分科会)大成エリアとして行っている。当団体では障がいのある人とない人とのレクという部分の根底の部分で活動している。

(2)事業の運営体制について(択一)

選択項目	件数(件)	割合(%)
同じ担当部署と協働(もしくは協力)して実施している	0	0%
<b>同じ担当部署と、その他団体とで協働(もしくは協力)している</b>	<b>2</b>	<b>29%</b>
<b>担当部署ではない他団体と協働(もしくは協力)して実施している</b>	<b>2</b>	<b>29%</b>
<b>提案団体単独の事業として実施している</b>	<b>3</b>	<b>42%</b>
その他	0	0%

(3)事業の運営資金について(複数回答可)

選択項目	件数(件)
市の事業の一環として、市から補助金等の財源を得て実施している	3
市以外の団体から補助・助成等を得て実施している	4
<b>団体の自己財源(会費・参加費・寄付金等)で実施している</b>	<b>5</b>
その他	0

具体的な助成元	
選択項目	件数(件)
国	0
<b>北海道</b>	<b>1</b>
他の市町村	0
<b>民間企業</b>	<b>2</b>
<b>その他</b>	<b>1</b>

具体的に 手をつなぐ育成会など

「現在は実施していない」と回答した場合

(1)事業を終了した理由について(複数回答可)

選択項目	件数(件)
事業目的を達成し、継続する必要がなくなったため	0
<b>事業実施に必要な資金が確保できなくなったため</b>	<b>4</b>
<b>事業実施に必要な人材が確保できなくなったため</b>	<b>4</b>
市民のニーズが変化し、参加者が減少してきたため	0
他の手法で課題解決を図るよう方向転換したため	1
その他	1

具体的な内容

その時右翼団体関係者からクレームが入った。

Q4.

この制度では、同一団体でも事業内容が異なる場合には再度応募することができますが、今後応募を検討してみたいと思いますか。(択一)

選択項目	件数(件)	割合(%)
<b>検討してみたい</b>	<b>12</b>	<b>67%</b>
検討する予定はない	4	22%
その他	2	11%

具体的な内容

障害が入り採択は無理と思います。翌年応募しましたが不採択でした。

すでに令和2年度分に応募している。

Q5.

(Q3.で「同じ事業を継続している」または「一部内容を変更して継続している」と回答した場合)  
採択事業の継続時例として、旭川市ホームページや募集案内等での取組紹介をさせていただくことに同意いただけますか。(択一)

選択項目	件数(件)	割合(%)
<b>同意する</b>	<b>11</b>	<b>92%</b>
同意しない	1	8%
その他	0	0%

Q6.

この制度への応募を検討している団体への応援メッセージをご記入ください。(記述)

※旭川市ホームページや募集案内への掲載を想定

・この制度を利用して、幅広く、旭川市民の方に知ってもらい、参加できるように活動してもらいたいと思います。  
・負担金がなくても活動していけるよう希望します。

行動に幅ができ、市民とのつながりも深まって、地域に貢献している実感が得られます。

小さな視点がより多くの広がる視点になり、活動に深みが増し、活動の力となります。

昨今、社会情勢が目まぐるしく変動する中、行政や市民が抱える課題が多岐に渡ります。そのような中で、課題解決の糸口になるような内容の事業を計画、検討されている団体の皆様是非、市の担当部署との意見交換など協働の力の活用と、事業遂行に伴う費用への補助金を活かして、より良いまちづくりのきっかけになるよう貢献していただきたいと思います。是非、持続可能な社会に御協力願います。

この事業提案に強く賛同し、10年間も行政側の対応にも積極的に参加して来ましたが、スタートの「前文」にもある民主的な「市政は市民が創る」を基本理念という「活動趣旨」に賛同しながら、実践に移っての疑問も多く、民主的な子供達の教育を守るまちづくりの提案に答える「市民の企画提案による協働のまちづくり事業」への理解には寂しい。

民間の助成金より提出書類、手間、審査も厳しいが、市に認められた事業となるため、クオリティーの高い事業となる。ただし、人と時間に余裕がないと厳しい。

こんな内容の応募をしたら門前払いをされるんじゃないか、鼻で笑われて一蹴されるんじゃないか、市民の税金の使い道としてそぐわないんじゃないか…と思いながら恐る恐る市民活動課さんに相談したら「それすごく面白いですね！」と言ってもらえたことは今でも鮮明に覚えています。  
補助金・助成金と聞くと敷居が高く感じられますが、「みんなのためになる」「みんなに喜んでもらいたいから活動するんだ」という本気の思いがあればどんな事業でも大丈夫だと思います。  
市民活動が最初から多くの人の理解を得ることは難しいですが、是非ともこの事業に応募して理解者・協力者を増やすきっかけとしてほしいと思います。

この事業を通じて、立場や価値観など、行政の方との協働、助成金を活用しながらさまざまな方々と出逢う中で、発想が広がることや、市民活動の奥深さを感じることもつながると思います。また、人付き合いも覚え、色んな社会的課題がある中での多様な世界から、本当の意味で自分や自分の団体は何ができるのか？トライして何かを得る機会につながると思いますよ。

Q7.

この制度について、ご意見等がございましたらご記入ください。(記述)

「冬の生活道路を守る協働意識の向上」の事業は、地域のまちづくり推進協議会の事業として一部内容を変えまして永山全地区で実施しております。このような制度が市民の意識改革ができたことに感謝しております。

事業の内容にもよりますが、当該事業のような場合には1年の対象期間では短すぎます。3年程度のスパンがないと効果的な活動ができません。

前理事長と3回目の打合せの時、担当者が産休のため変わっていました。事前に分かっていたことなので、最初から知らせてくれたら良かったと思います。不親切だなと思います。

事業としては終えたが、その後も工芸センターなどの部署への相談・アドバイスや木工作家との連携は続いており、大変有益であった。

→次ページへつづく

・当制度の市民の周知度が低いと思います。  
・課題解決が長期にわたる採択事業「ごみの減量化」等については、団体の事業期間終了後も予算計上をしていただきたい。  
・生ごみの堆肥化活動を始めてから、市全体の家庭ごみで燃やせるごみのうち、生ごみの割合が2%減少し、処理費用が数千万円減少しています。必要予算との費用対効果を考慮して、無駄なごみ処理費用を削減することが不可避です。

新しい事業に新しいチャンスを！！  
同団体は何度も採択しなくて良いと思います。

(要約)

市民参加と同時に教育講座・教室にも取り組みながら、本制度へ応募を繰り返したが、採択が1回というのは納得がいかない。

要因を考えた末、次のA～Fにおいて再検討が必要。

- A 採択の応募提案方法
- B その決定の手順方法
- C 審査委員の決定と審査方法
- D 助成予算の配分方法等
- E 点数化の根拠理由と項目の比重理由
- F 成果・結果の見えない活動予想への点数化等

特に教育関係の審査・採点は公平に行われているか疑問である。教育関係の提案における成果・結果は時間がかかり見えづらい。成果が明らかな提案と比較しながら、全てを予想し点数化するのは無理だ。また、様々なジャンルの提案事業と並べて点数化し順位をつけるのは無理、非常識である。

目指すは、市民生活部が本制度を担当しつつも、採択については各担当部署と市民団体が協議を重ね協働可能な合意点を見つけ出すことだ。

・経費のほとんどを自己負担、年2回実施が厳しい。好評につき継続する場合の補助金を検討してほしい。

・協働で受けてくれる部署が消極的に感じるので、各部署からも市をよくする事業提案があり、それに協力できる団体を応募、選択する方法もあるのでは？

・採択されるまでの作業、審査も多いし、やらしてもらってる感が強いので、入り口を簡素化し、実施中のチェックを厳しくした方が応募団体も増え、不正も防げるのでは。

この制度は続けてほしい。

続けていかなければいけないと思います。

費用対効果が数字で見えるものばかりでなく、全く未知数の「人の想い」や「危機感」「情熱」といった部分に税金を投入するのは難しいという考え方から脱却し、行政が積極的にその未知数の部分へ投資していくことが、多様化し5年先を誰も予想することができないこの現代社会において新たな資源の発掘、新たな事業への投資になると思います。

とても良い事業と思います。

励みになります。

力をつけて、いずれ挑戦したい。

なかなか社会的課題の解決や活性化という部分では、もっと手前のプロセスが要求されているような気がします。何をもって専門性なのか？やっぱり現場のような気がして、カタチになかなかならなくても現場からのプロセスの中で、仕掛けづくりを楽しく向き合っている団体など、この制度を含む集まっている方で育ててやっていただければうれしい限りです。